

商店街の公園化によるまちのリノベーション戦略 —とっとり方式の定式化—

テーマ

研究者

小椋 弘佳 (米子工業高等専門学校)

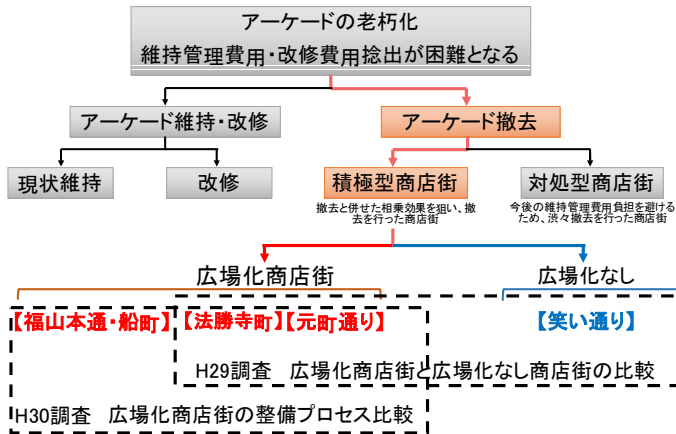
概要

本研究は、全国的にアーケードの老朽化が進み、整備方針の検討が急がれる中で、アーケード撤去と合わせてコミュニティ道路としての公園化整備に至った県内事例を対象とし、その事業プロセスを解明し改善提案をすること、得られた知見を県外に発信することを目的としている。

本年度は、鳥取県米子市と広島県福山市の事例を対象に、公園化した商店街の再整備プロセスを明らかにし、2事例を比較分析した。その知見から公園化整備の特徴を考察した。

研究内容

アーケード商店街の再整備分類と調査対象事例の位置付け



目的: 広場化整備の実態と整備プロセスの特徴をまとめ、
広場化整備の効果・課題点を明らかにする。

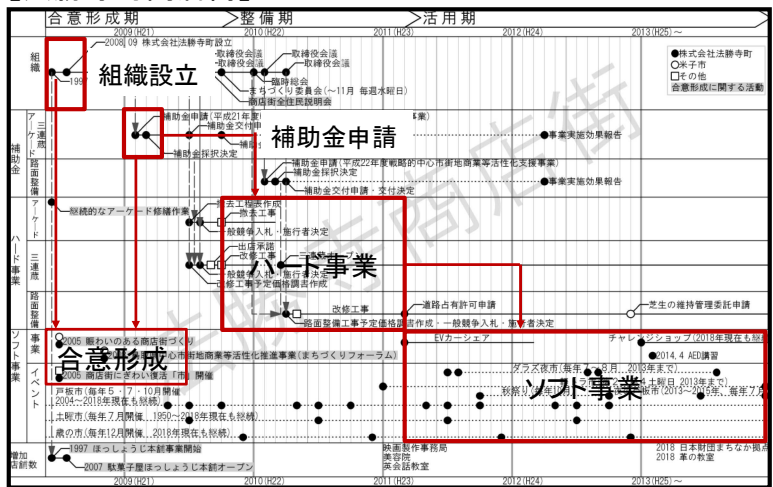
米子市法勝寺町・元町商店街と福山市福山本通り・船町商店街の整備内容と周辺建物の利用状況



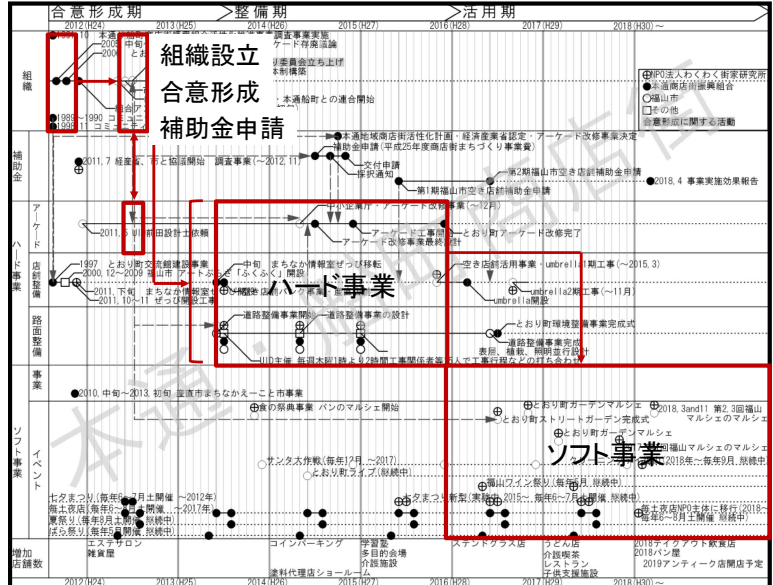
米子市法勝寺町商店街と福山市福山本通り・船町商店街の整備プロセス

【法勝寺町商店街】

※ 米子市元町通り商店街は資料が得られなかったため省略



【福山本通・船町商店街】



・合意形成期、整備期そして活用期に分けることができた
・事業の流れは両事例ともに、事業主体組織の設立・住民の合意形成・補助金申請＞ハード事業＞ソフト事業 であった

応用分野

都市計画・建築計画

連絡先

所属: 米子工業高等専門学校 建築学科 准教授 氏名: 小椋 弘佳
連絡先: ogura@yonago-k.ac.jp tel. 0859-24-5173